

平成27年度



なはしの よさんの はなし



ナハトくん

戦後70年平和交流キャラクター

那 覇 市

『なはしのよさんのはなし』について

ハイサイ！（こんにちは！）

地方公共団体の予算書は、分厚く、数字だらけで、とっつきにくいといわれています。

那覇市の予算書「那覇市一般会計予算及び予算に関する説明書」は、200ページ以上にわたり、「歳入予算」や「歳出予算」が、款、項、目という区分により表示されています。予算書の内容は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然とならんでいて、市民のみなさんには少々わかりづらくなっています。

「市民との協働のまちづくり」を実践していくためには、市民のみなさんに那覇市の予算を知っていただくことが大切であると考えています。

地方財政を取り巻く環境が益々厳しさを増すなかで、「那覇市の予算」がどうなっているのかを、市民のみなさんにわかりやすくお知らせするために、「なはしのよさんのはなし」を作成しました。

「なはしのよさんのはなし」は、平成27年度の那覇市の予算について、できるだけ簡潔に表現するよう心がけました。

本冊子によって、市民のみなさんが那覇市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

ユタシク ウニゲー サビラ。（よろしく お願いします。）

企画財務部 財政課

※那覇市では、平成24年度から沖縄の伝統文化の継承発展を目的として、「ハイサイ運動」（沖縄固有のことば・ウチナーグチによるあいさつの推奨、等）を推進しています。

CONTENTS（目次）

「なはしのよさんのはなし」について	1
基礎知識編	
予算とは？ 予算の決め方は？ 予算の変更は？	2
予算のその後？ 予算の規模は？	3
一人当たりで換算してみると	4
収入編	5
支出編	9
平成27年度予算の考え方	13
資料編	15

基礎知識編

予算についてのいろいろな「おしえて！」についてお答えします。

予算とは！

Q 予算ってなんだろう？ おしえて！

A 予算とは、1年度間(4月から翌年の3月まで)の収入(入ってくるお金)と支出(使うお金)を前もって見積もることです。

那覇市では、新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか？そしてその1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。那覇市の予算書には、これからの1年間のお金の使いみちが記されています。市役所等の行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。

予算の決め方は？

Q どうやって那覇市の予算を決めるの？ おしえて！

A 市長が予算案をつくります。そして、市議会の審議と議決によって成立します。

那覇市役所のそれぞれの担当部局は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、「向こう1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各担当部局の案を自分の考えにそって予算案をまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで市議会の議決により予算を決めます。

予算の変更は？

Q 一度決めた予算は、変えることはないの？ おしえて！

A 変えることがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

予算のその後は？

Q 予算を使ったあとは？ おしえて！

A その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそのお金の使いみちが予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果をあらわしています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算で見積もった収入と支出の結果（入ってきたお金と使ったお金）が決算です。決算書は会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

予算の規模は？

Q 那覇市の予算の規模は？ おしえて！

A 「一般会計予算」では、1,344億7,000万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,268億8,789万円になります。

一般会計予算 1,344億7,000万円

一般会計とは、教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税（市民税や固定資産税など）や国・県支出金などです。

特別会計予算 785億9,359万円

特別会計予算とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計予算から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。那覇市には、7つの特別会計予算があります。

- ・土地区画整理事業特別会計（1億6,347万円）
- ・国民健康保険事業特別会計（497億8,291万円）
- ・市街地再開発事業特別会計（18億5,381万円）
- ・介護保険事業特別会計（233億9,681万円）
- ・後期高齢者医療特別会計（29億8,371万円）
- ・病院事業債管理特別会計（3億2,536万円）
- ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計（8,751万円）

+

+

公営企業会計予算 138億2,431万円

那覇市では、水道事業及び下水道事業の2つの公営企業会計予算があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- ・水道事業会計予算（78億9,784万円）
- ・下水道事業会計予算（59億2,646万円）

※平成20年度から病院事業会計は、地方独立行政法人へ移行しました。

=2,268億8,789万円



一人当たりで換算してみると

Q 市民一人当たりの経費と市税の使いみちは？

A 市民一人当たりだと下記のような使いみちになります。(一般会計)

市民一人当たり行政経費及び市税負担額(一般会計)

人口(平成27年3月31日現在)	319,710 人
平成27年度市税総額	43,941,491,000 円
市民1人当たり行政経費	420,600 円
市民1人当たり市税負担額	137,442 円

区分	金額(円)
議会費(議会運営のための経費)	2,658 円
総務費(市役所の運営、広報などのための経費)	25,150 円
民生費(福祉施設の運営、生活扶助、児童及び老人福祉などの経費)	208,009 円
衛生費(市民の健康維持やごみ処理などの経費)	30,329 円
労働費(雇用拡大や失業対策などに要する経費)	211 円
農林水産業費(農林漁業の振興、技術の普及を図るための経費)	526 円
商工費(商工業の振興、中小企業、観光振興のための経費)	3,293 円
土木費(道路、橋、河川、公園などの基盤整備のための経費)	53,378 円
消防費(市民の生命、財産を守り、災害を防ぐための消防活動経費)	11,969 円
教育費(学校教育や生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興のための経費)	40,616 円
公債費(事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金)	44,243 円
その他	219 円



収入編（一般会計予算）

那覇市の収入には、市税や国と県からの収入、銀行等からの借り入れや施設の使用料などがあります。

みなさんが、那覇市に納める税金です。

事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。

市の施設を利用する際に支払うお金です。

銀行などから借金をしています。

主に、基金を取り崩しています。

みなさんが国に納める税金の一部です。
使いみちは自由です。

みなさんが国や県に納める税金の一部です。
使いみちが決められています。

那覇市の一般会計予算
(1年度間の収入)

項 目	金額(単位:千円)
市税	43,941,491
分担金及び負担金など	2,627,750
使用料及び手数料など	5,028,066
市債	11,990,363
繰入金	1,822,637
地方譲与税	653,483
地方消費税交付金など	5,599,010
地方交付税	12,150,433
国・県支出金	50,656,767
計	134,470,000

2万分の1へ

那覇市の一般会計予算の

- ・約40%が市税などの自主財源の収入です。
- ・国からの交付税などの依存財源は約60%です。



【自主財源】

市が自主的に収入しうることのできる財源です。
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

【依存財源】

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。

地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。

自主財源の比率が大きいことが大切です。

2万分の1に置き換えて…那覇市の収入(歳入)予算を家計簿に例えてみました！

(支出(歳出)予算の家計簿は、p12に掲載しています。)

なは家の家計簿
(1年間の収入状況)

収入項目	金額(万円)
基本給与	220
諸手当	13
パート収入	25
銀行からの借り入れ	60
預金の取り崩し	9
親からの仕送り	92
親から特別にもらう仕送り	253
計	672

那覇市の平成27年度の一般会計予算は、1,344億7,000万円です。

数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入があり、普通家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿(収入)の特徴

年間の収入は、決して低いとは言えません。

しかしながら、その実状は、親からの仕送りに頼っていることがはっきりしています。また、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。

今後は、親からの仕送りは減っていくことが考えられます。預金もそんなに多くは残っていません。基本給与や諸手当及びパート収入の増に努めたいところです。

また、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが必要だと考えます。

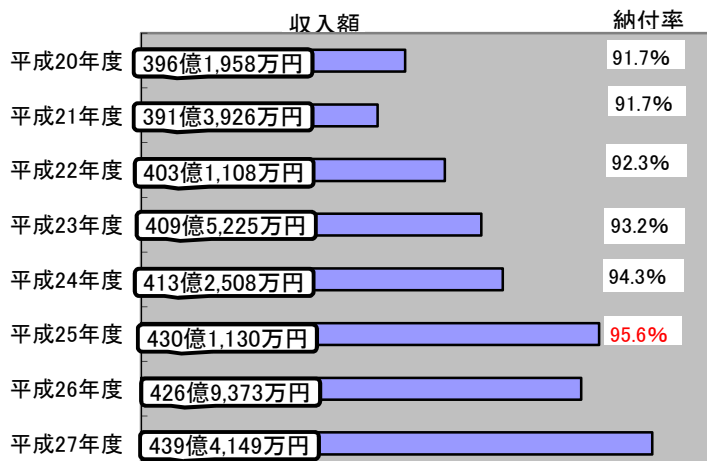
Q 那覇市の市税収入は増えているの？減っているの？どっち？おしえて！

A 那覇市の収入の根幹である「市税」収入は、平成25年度決算で430億1,130万円と、前年度に引き続き400億円を超え、前年度(平成24年度)に比べると、約16億9千万円増えています。また、収納率も95.6%となっており、前年度より1.3%伸びています。平成27年度予算額においても、439億4,149万円を見込んでいます。

市税収入には、主に個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあります。平成25年度決算では、前年度に比べ約16億9千万円増加しています。主な内訳では、市民税が約6億9千万円、固定資産税が約5億円、市たばこ税が約4億1千万円といずれも増となっています。

また、市税の納付率については、平成20～21年度は景気悪化の影響により、91.7%となり前年度から0.1%減少しましたが、平成22年度は92.3%、平成23年度は93.2%、平成24年度は94.3%、平成25年度は95.6%となり、年々向上しています。

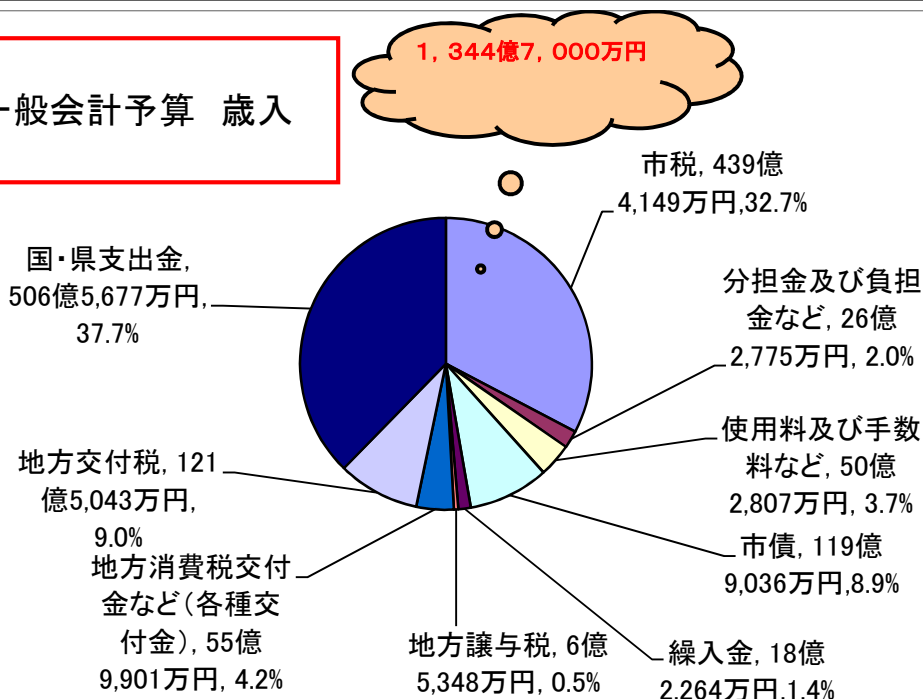
(注) 右のグラフは平成25年度までは決算額、平成26・27年度は予算額です。



収入編（もっとくわしく）

予算書では、収入のことを歳入と表現しています。那覇市一般会計予算の歳入の特徴を説明します。

一般会計予算 歳入



国・県支出金

特定の行政目的を達成するために、当該経費にあててることを条件に交付されます。

- ・国庫支出金 338億7,745万円
- ・県支出金 167億7,931万円

地方交付税

国は、地方公共団体間での財源の不均衡を調整して、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障します。国税として徴収した税の一定割合を、地方公共団体の財政状況等に応じて分配します。自由に使える一般財源です。

- ・普通交付税 108億5,719万円
- ・特別交付税 12億9,324万円

各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 8,264万円
- ・配当割交付金 8,918万円
- ・株式等譲渡所得割交付金 8,164万円
- ・地方消費税交付金 48億9,520万円
- ・自動車取得税交付金 4,304万円
- ・国有提供施設等所在市町村助成交付金 2億9,216万円
- ・地方特例交付金 6,516万円
- ・交通安全対策特別交付金 5,000万円

地方譲与税

国は、国税として徴収した特定税目の収入額を、一定の客観的な基準によって地方公共団体に譲与します。

財政状況等を考慮することなく、全地方公共団体に一律の客観的基準で分配される点で地方交付税と異なります。

- ・自動車重量譲与税 3億2,297万円
- ・特別とん譲与税 1,915万円
- ・航空機燃料譲与税 1億7,162万円
- ・地方揮発油譲与税 1億3,974万円

歳入の特徴

- ①市民のみなさんが納める税が、収入(歳入)の約32.7%です。
- ②国、県から使いみちを指定されて、特定の事業に対して交付される国・県支出金が約37.7%となっています。
- ③地方交付税は121億5,043万円で、昨年度に比べ約13億6千万円の減となっていますが、その分、地方消費税交付金が約15億9千万円増えています。
- ④その他の収入のうち、繰入金(基金の取り崩しなど)の収入は18億2,264万円で、昨年度より約30億3千万円減っています。
- ⑤市債は119億9,036万円で、臨時財政対策債や教育債の減などにより、昨年度より約28億7千万円減っています。

市 税

- ・固定資産税 207億5,179万円
土地や家屋などを所有している方が納めています。

- ・個人市民税
136億6,494万円
所得などに応じて納める税です。
- ・法人市民税
50億1,210万円
市内の会社が収益などに応じて納めています。

- ・軽自動車税 5億6,641万円
軽自動車を持っている方が納めています。
- ・市たばこ税 30億3,247万円
タバコを買った方が納めています。
- ・事業所税 9億225万円
市内の会社が納めています。
- ・入湯税 1,154万円
温泉を利用した方が納めています。

市 債

地方公共団体が事業を実施するために国や金融機関などから借り入れる借入金のうち、その返済が2年度以上にわたる長期の借入金のことです。家計における借金に相当します。

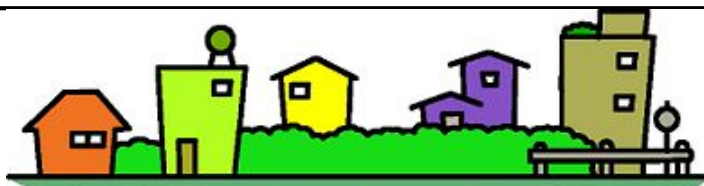
・市債 119億9,036万円

その他の収入の内訳

- ・分担金及び負担金 14億8,036万円
- ・財産収入 6億4,739万円
- ・繰越金 5億円
- ・諸収入 17億9,672万円
- ・使用料及び手数料 32億3,135万円
- ・繰入金 18億2,264万円

Q 借金(市債)をするのは、なぜ？ おしえて！

A 学校などの公共施設の建設費には一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために借金をします。資金繰りという面もありますが、将来の市民のみなさんにも公平に負担してもらう面もあります。



支出編 目的別(一般会計予算)

那覇市の支出には、福祉、教育、消防など市民の暮らしのための分野をはじめとして、都市基盤の整備や環境施策などの分野に使われています。

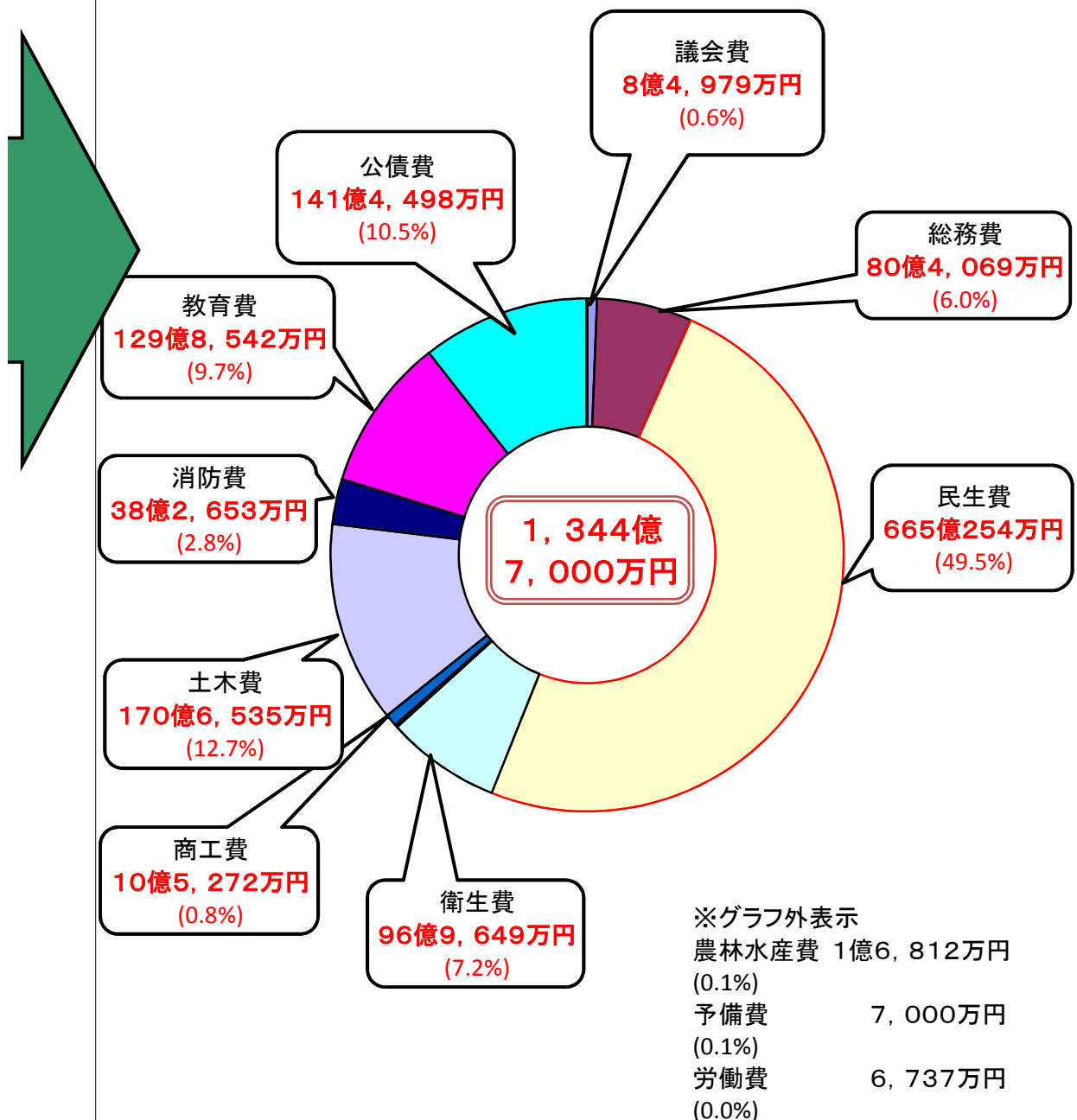
那覇市の一般会計予算(歳出)

(単位:千円、%)

名称	概要	金額	割合
議会費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに係る経費です。	849,793	0.6%
総務費	庁舎などの管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、市税の賦課・戸籍住民基本台帳・選挙・統計調査に係る経費です。	8,040,691	6.0%
民生費	社会福祉の充実を図るため、児童、老人、心身障がい者などのための社会福祉施設の整備、管理運営や生活保護などに係る経費です。	66,502,539	49.5%
衛生費	市民の健康を保持増進し、生活環境の改善を図るとともに、医療、公衆衛生、精神衛生などに係る経費と、ごみなどの一般廃棄物の収集・処理などに係る経費です。	9,696,486	7.2%
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費です。	67,366	0.0%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに係る経費です。	168,124	0.1%
商工費	商工業の振興と、中小企業の育成、企業誘致などに係る経費です。	1,052,719	0.8%
土木費	まちの基盤整備を図るため、道路、河川、住宅、公園などの各種公共施設の建設、整備を行うとともに、これらの施設の維持管理に係る経費です。	17,065,349	12.7%
消防費	火災、風水害、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を守り、災害の防除などに係る経費です。	3,826,534	2.8%
教育費	教育の振興と文化の向上を図るため、学校教育、社会教育などの教育行政に係る経費です。	12,985,418	9.7%
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に係る経費です。	4	0.0%
公債費	事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金です。	14,144,976	10.5%
諸支出金	支出の性質により、他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。	1	0.0%
予備費	緊急に支出を必要とする場合のための経費です。	70,000	0.1%
計		134,470,000	100%

支出編 目的別(一般会計予算)・・・グラフ表示

予算書では、支出(出ていくお金)のことを、歳出と表します。平成27年度のお金の使いみちの見積です。



支出編 性質別(一般会計予算)

支出(歳出)を別の視点から見るができます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

那覇市の一般会計予算(性質別)
(単位:千円)

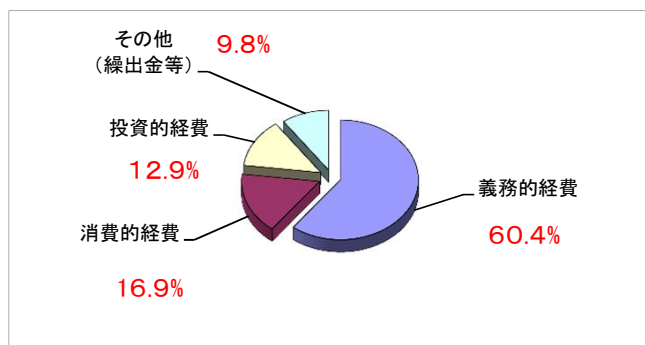
人件費	18,478,248	義務的経費	義務的経費 人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。 ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。 ・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。 ・公債費…過去に借り入れた借金(収入の部の「市債」)の返済にかかる費用です。
扶助費	48,596,120		
公債費	14,144,976		
小計	81,219,344		

物件費	13,219,020	消費的経費	消費的経費 後年度に形を残さない性質の費用です。 ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。 ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。 ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。
維持補修費	433,463		
補助費等	8,591,646		
小計	22,244,129		

普通建設事業費	17,761,235	投資的経費	投資的経費 幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。
単独	2,483,085		
補助	15,278,150		
災害復旧事業費	4		
単独	0		
補助	4		
小計	17,761,239		

積立金	413,403	その他の経費	その他の経費 その他の経費には、上記以外の経費を含めています。 ・積立金は、各種基金への積立です。 ・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。 ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために備えています。
投資及び出資金	87,681		
貸付金	722,001		
繰出金	11,952,203		
予備費	70,000		
小計	13,245,288		

合計	134,470,000
----	-------------



那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

収入(歳入)の家計簿は、p6に記載しています。

なは家の家計簿

(1年間の支出状況)

支出項目	金額(万円)
食費 (人件費)	92
医療費 (扶助費)	243
光熱水費・通信費、その他 の支出(物件費など)	118
家の増改築 (投資的経費)	89
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰出 金)	60
ローン返済 (公債費)	71
合計	672

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてつくってみました。)

なは家の家計簿(支出)の特徴

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の60.4%もあります。

子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。

子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。

来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われる。

食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。

Q 前年度と比べてどんな経費が増えて、どんな経費が減っているの？ おしえて！

A 扶助費は増え、公債費や普通建設事業費などが減っています。

- 1.「義務的経費」は、約12億1千万円の増となっています。内訳としては人件費が約9千万円、公債費が約1億5千万円の減となっている一方で、扶助費が生活保護費や障害福祉サービス等給付費などの増により、約14億6千万円の増となっています。
- 2.「消費的経費」は、臨時福祉給付金事業や基幹系業務システム運用維持事業などの減により約5億9千万円の減となっています。
- 3.「投資的経費」は、津波避難ビル建設事業や大名小学校校舎建設事業の完了などにより、約58億3千万円の減となっています。
- 4.「その他の経費」は、那覇市新市民会館建設基金への積立金の減などにより約7億6千万円の減となっています。

平成27年度 予算の考え方

平成27年度の予算は、子育て支援の環境整備をはじめ、年々増加する扶助費等義務的経費への対応、国民健康保険事業特別会計の累積赤字の解消等に向けての財源確保を念頭に、経営資源の有効活用、市民との協働によるまちづくりの更なる推進等に努めてまいります。

市民の皆様をはじめ、次世代を担うこどもたちのためにも、時代の潮流をしっかりと見据え、確かな財政基盤を築いていきたいと考えております。

ゆたさるぐとう うにげーさびら。

市政運営の基本姿勢

ひと つなぐ まち

目指す市政運営を「ひと つなぐ まち」という言葉で表現しております。その言葉には、「人がまちをつくり、社会をつくり、世界をつくる」「人材がすべてに共通する財産である」という、熱い思いが込められています。

「人をつなぐ、平和をつなぐ、市民と市役所をつなぐ」というように、様々な取組みをつなぎ合わせ、多くの力をつむいでいくことで、市民との協働によるまちづくりを成熟した形へと進めていきます。

協働の仕組みの完成に向けて

本市は、市民の皆様や様々な団体と対話する機会を積極的に設けてまいりました。これからも市民との対話を重視して、市民との協働によるまちづくりをさらに深く根付かせていきたいと考えています。

4月には、待望の「なは市民協働プラザ」がオープンいたしました。この施設を、これからの那覇市を担う団体の活動拠点とし、様々な取組みへとつなげていきたいと考えています。

「ひと」「知恵」「情報」など、多くの力をつむぎあわせ、市民の皆様と心をひとつにして、協働によるまちづくりを揺るぎないものへと発展させてまいります。

持続可能な行財政運営を目指して

少子高齢化、人口減少などの社会構造の大きな変化や、扶助費の増大などを背景に、全国の他の自治体と同様、本市も、厳しい財政運営が今後も続くものと予測しています。

一方、老朽化した学校や公共施設の更新や新たな需要に対応した施設整備も待ったなしで進めなければなりません。

そのためにも、ファシリティマネジメントの手法を取り入れるなど、経営戦略的な視点で公共施設の有効活用を図ることも視野に入れながら、強固な財政基盤を築くことを目指してまいります。

学校を中心とした新たなまちづくり

学校という「財産」と、地域の「力」をつなぎ、子どもたちの安心・安全な居場所である学校を、地域に最も身近な「地域コミュニティの拠点」として有効に活用する方向で、取組みを進めてまいります。

具体的には「学校施設の複合化・オープン化」に取り組んでいきます。

学校施設という地域の財産を有効活用することで、地域につながりを生み出すとともに、待機児童の解消、高齢者福祉等、本市が抱える様々な課題の解決や、市民サービスの向上につなげたいと考えております。

女性と子育て

女性が安心して働くことのできる環境を整え、女性の職場進出を広げていくことは、男女共同参画及び少子高齢化が進む流れにおいても有意義だと考えます。

「母親の笑顔が、子どもの笑顔につながる。」

男女共同参画社会の面でも、本市がフロントランナーとなることを目指して、女性の目線で、女性がイキイキと活躍できる環境整備と待機児童解消に、全力で取り組む所存です。

次代を担う人づくり

沖縄の未来を考えると、「人づくり」は、私たち大人が共有すべき重要な課題になると思います。

すなわち「人づくり」こそ、子どもの笑顔が輝くまちづくりの第一歩であり、すべての大人が未来への思いを共有し、地域が一体となって取り組むべきものだと考えます。

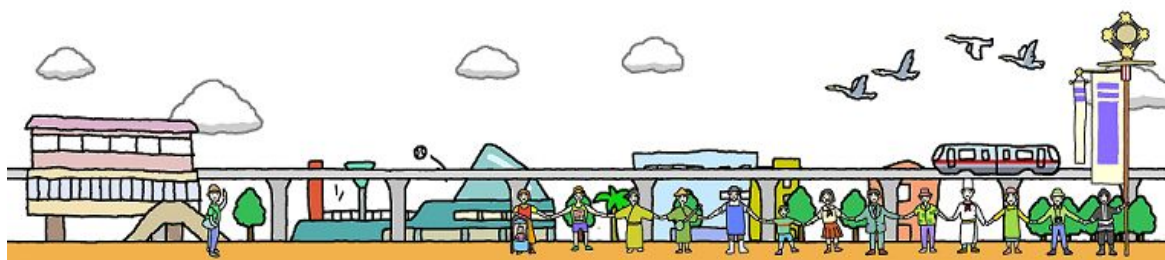
沖縄が日本のフロントランナーとして、経済を牽引し発展していくという未来像を実現するためにも、次代を担う質の高い人材の育成に力を尽くしてまいります。

中心市街地へにぎわいを

マチグワーの魅力を生かし中心市街地の活性化を図るため、観光客のみならず地元客もひきつけられる新しいにぎわいを創出する仕組みづくりが必要です。

求心力の高い施策を積み重ねて実施することで、国際観光都市・那覇のグレードをさらに高め、県都としての輝きを堂々と世界に発信していきたいと思っております。

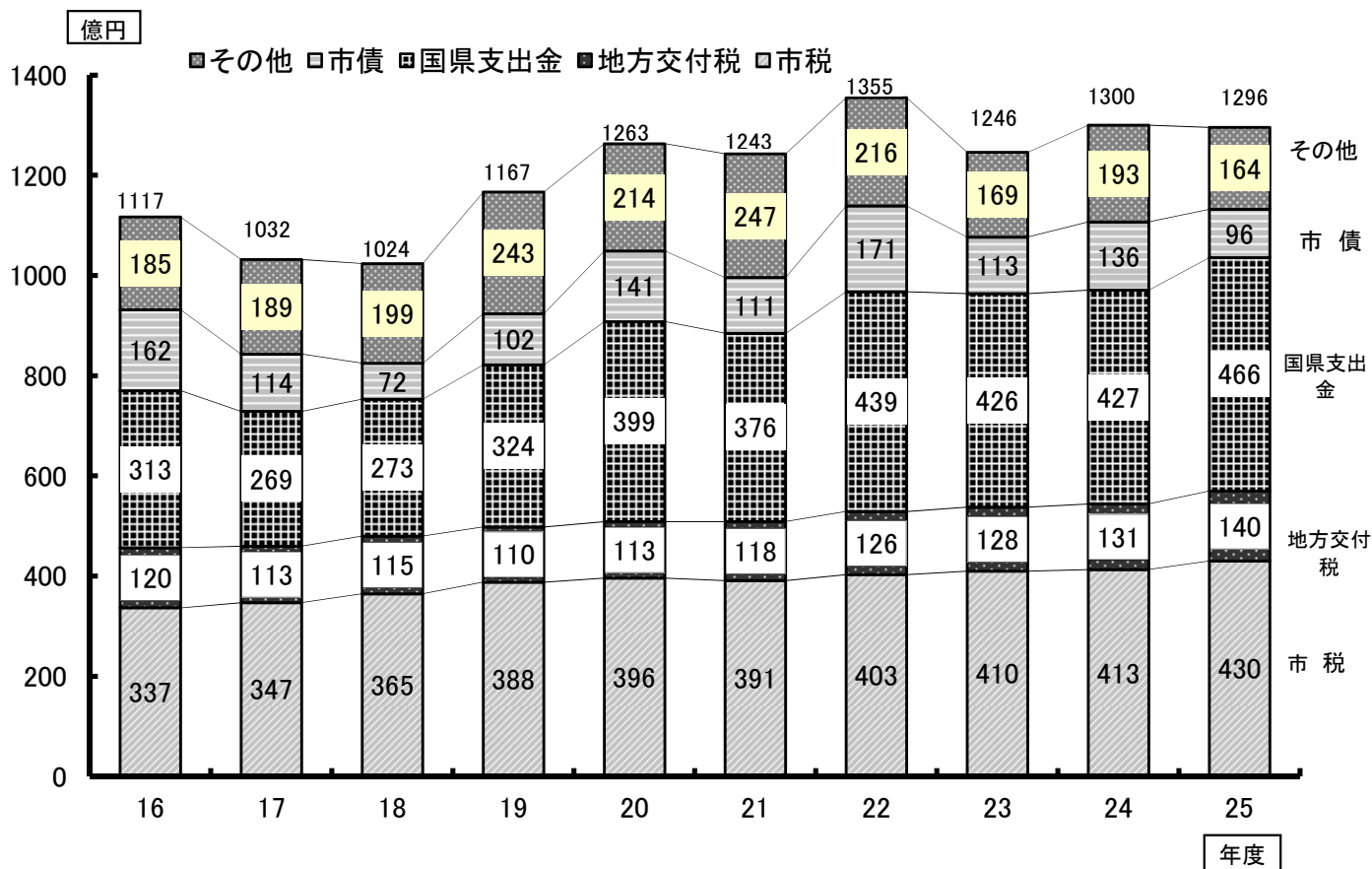
沖縄県が「強くしなやかな自立型経済」を構築し、本市が今後も更なる発展の道を力強く確実に歩んでゆくために、知恵を出し合い、工夫しながら取り組んでまいります。



歳入(科目別歳入の推移)

◆那覇市の平成16年度以降の普通会計の科目別収入の推移

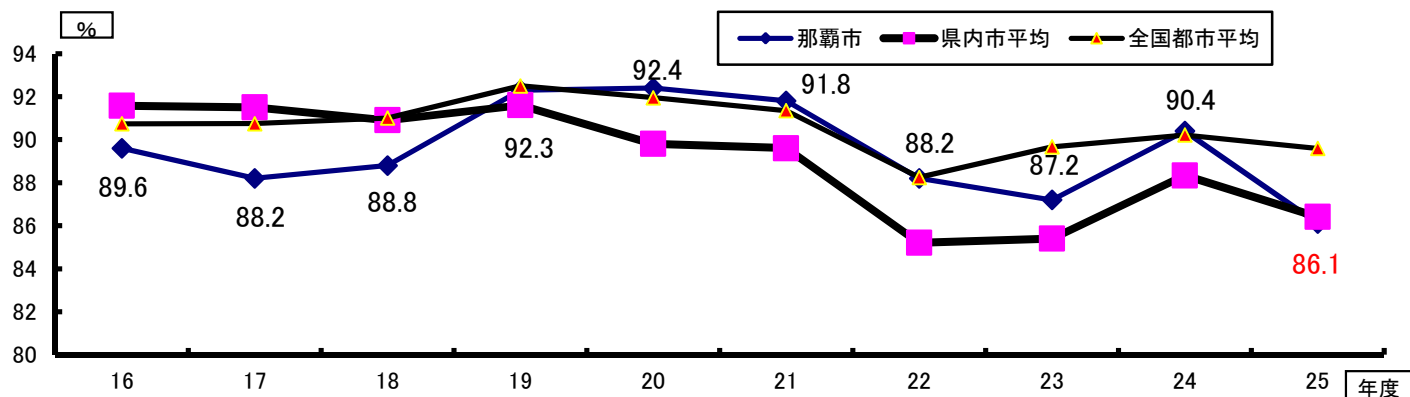
平成16年度と平成25年度を比較すると市税については、新都心地区の開発や税源移譲等が要因となって、約93億円増加しております。ほか、地方交付税や国県支出金等の全体に占める割合は、概ね同程度で推移しています。



【経常収支比率】

経常収支比率は、市税・地方交付税などの経常的な一般財源収入が、人件費・扶助費・公債費などの経常的に支出される経費に、どれだけ充てられているかを示した指標です。その団体の財政構造の弾力性を判断するものです。この比率が高いほど一般財源のほとんどが経常的な経費に費やされるため、使途の自由度がなくなり、市民の新しいニーズへの対応や投資的経費に充てる財源が少ない状態であることを示しています。一般的に経常収支比率は70～80%が望ましいとされています。

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の推移

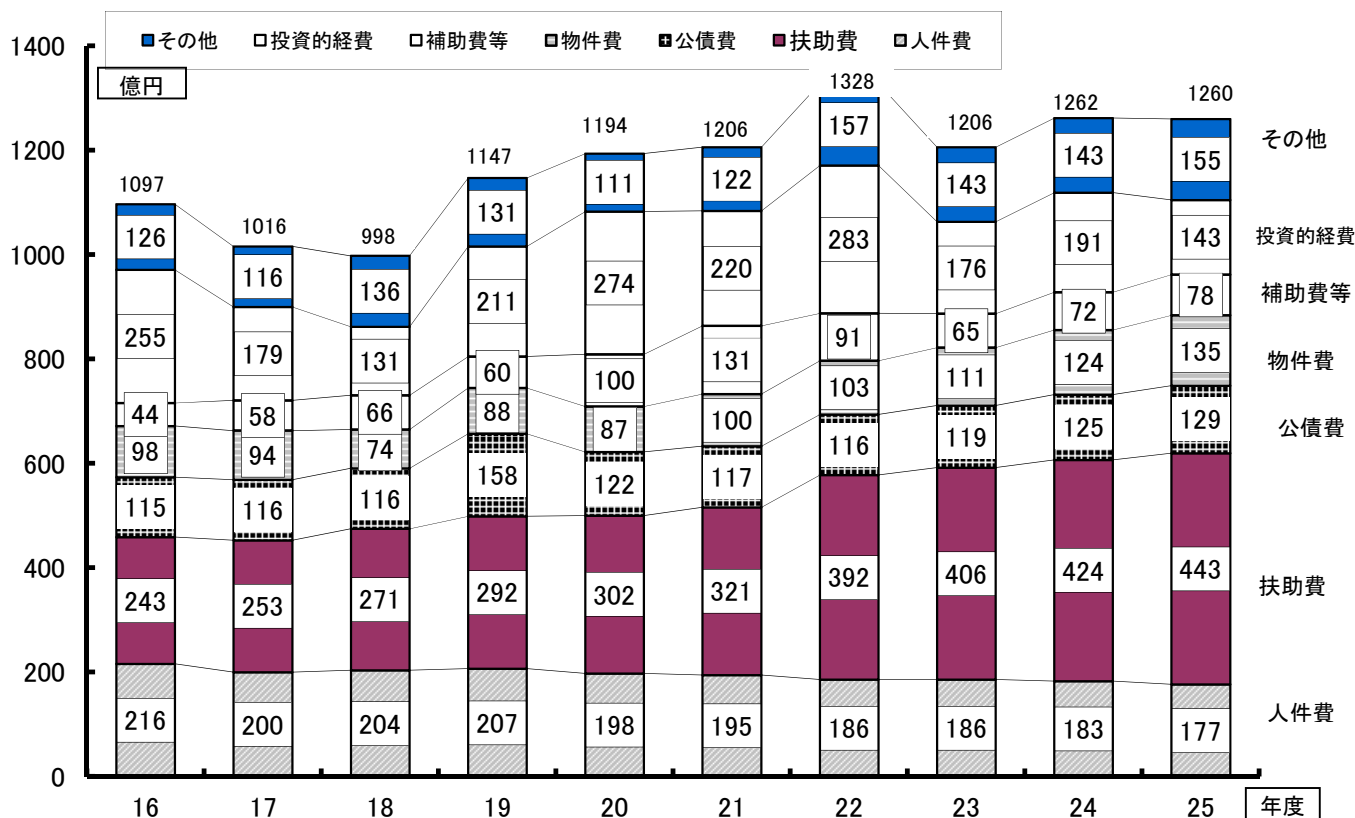


平成16年度と平成25年度を比較すると3.5%の減となっています。平成25年度は、全国都市平均の89.59を下回っており、対前年比においては4.3%の減となっています。これは、扶助費に係る経常収支比率が対前年度1.6%増となったものの、人件費(2.5%減)、公債費(2.0%減)に係る経常収支比率が減となったためです。

歳 出(性質別歳出の推移)

◆歳出の性質別推移を見たのが次のグラフです。

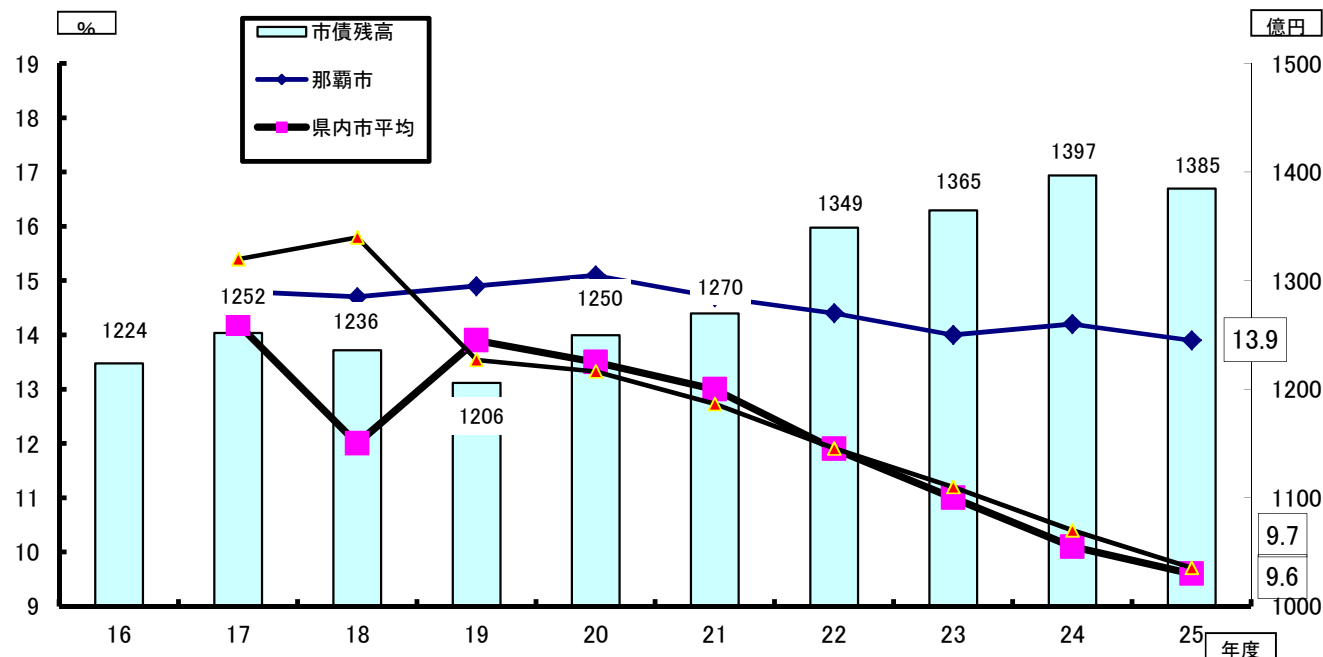
人件費、扶助費及び公債費の義務的経費の占める割合は、平成25年度で59.4%と全支出の約6割を占めています。人件費は平成16年度と平成25年度を比較すると職員定数の見直しなどにより39億円減少しています。一方扶助費においては、増加傾向で推移し、平成16年度と平成25年度を比較すると、実に200億円も増えています。



【実質公債費比率】

地方債を借り入れた際、毎年度元金の返済及び利子の支払いが必要となります。これに要する経費の総額を公債費といいます。この公債費と公営企業の公債費への一般会計繰出金の一般財源に占める割合を実質公債費比率といい、この比率が25%を超す団体は地方債を借り入れることが制限されます。

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の実質公債費比率及び那覇市の市債残高の推移



那覇市の実質公債費比率は、全国都市平均(9.7)及び県内市平均(9.6)と比較すると、依然として高めに推移しています。これは、未買収道路用地取得や学校借用校地購入等の特殊な事情により、借入額がかさみ、数値が高くなる一因となっています。





な は し の
よ さ ん の
は な し



本冊子についてのご意見をお待ちしております。

平成27年度 なはしのよさんのはなし
 平成27年7月／発行：那覇市企画財務部財政課
 〒900-8585 那覇市泉崎1-1-1
 TEL098-862-9938 FAX098-862-4268
